

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目 I 西洋史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目I (西洋史 専攻分野)

次の設問Ⅰ～Ⅲのすべてに解答しなさい。解答は順不同でかまわない。また解答紙は3ページ以下である。

Ⅰ. 以下の人物の事績について、略述しなさい。なお生没年は『山川 世界史小辞典』改訂新版、2004年による。

- (1) ペリクレス (前495年頃～前429年)
- (2) カエサル (前100年～前44年)
- (3) コンスタンティヌス1世 (274年?～337年)

Ⅱ. 以下の言葉について説明しなさい。

- (1) アンジュー帝国
- (2) クヌートの北海帝国
- (3) 帝国教会制

III. 次の文章を読み、続く設問について答えなさい。

ヘーゲルはどこかで、すべての偉大な世界史的事実と世界史的人物はいわば2度現れる、と述べている。彼はこう付け加えるのを忘れた。1度は偉大な悲劇として、もう1度はみじめな笑劇として、と。ダントンの代わりにコシディエール、ロベスピエールの代わりにルイ・ブラン、1793～95年のモンターニュ派の代わりに1848～51年のモンターニュ派、小男の伍長と彼の元帥たちの円卓騎士団の代わりに、借金を抱えた中尉たちを手当たり次第にかき集めて引き連れたロンドンの警官！ 天才のブリュメール 18日の代わりに白痴のブリュメール 18日！ そしてブリュメール 18日の第2版が出版された状況も、これと同じ戯画である。1度目はフランスが破産の瀬戸際にあったが、今度はボナパルト自身が債務者拘留所に入る瀬戸際だった。あのときは列強の連合が国境にいたが、——今度はルーグ＝ダラシュの連合がイングランドに、キンケル＝ブレンターノの連合がアメリカにいる。あのときはサン・ベルナール峠を越えなければならなかつたが、今度は1個中隊の憲兵隊をジュラ山脈を越えて送り込まなければならない。あのときはマレンゴ以上のものを獲得しなければならなかつたが、今度はサン・タンドレ大十字勲章を獲得し、『ベルリン国民新聞』の尊敬を失わなければならぬ。

人間は自分自身の歴史を創るが、しかし、自発的に、自分で選んだ状況の下で歴史を創るのではなく、すぐ目の前にある、与えられた、過去から受け渡された状況の下でそうする。すべての死せる世代の伝統が、悪夢のように生きている者の思考にのしかかっている。そして、生きている者たちは、自分自身と事態を根本的に変革し、今までになかったものを創造する仕事に携わっているように見えるちょうどそのとき、まさにそのような革命的危機の時期に、不安そうに過去の亡靈を呼び出して自分たちの役に立てようとし、その名前、闘（とき）の声、衣装を借用して、これらの由緒ある衣装に身を包み、借り物の言葉で、新しい世界史の場面を演じようとするのである。・・・

〔出典〕カール・マルクス『ルイ・ボナバトルのプリュメール 18日 [初版]』植村邦彦訳、平凡社ライブラリー、2008年(数字は英数字に改め、ルビは括弧で示した)。

この文章は、下線部に端的に見られるように、基本的に2つの歴史事象を念頭に置き、それらを対比しながら論を進めている。これら2つの歴史事象について、それぞれ具体的に説明しなさい。

受験記号番号

3 / 8

受験記号番号

4 / 8

受験記号番号

受験記号番号	
--------	--

5 / 8

受験記号番号

6 / 8

受験記号番号

7 / 8

受験記号番号

8 / 8